



株式会社 ヨコタコーポレーション

主力事業は自動車関連部品（ベアリングレース、自動車部品）と各種FA機械（旋削機、自動車部品の組立・検査など）の開発設計製造。「ハードオフ」の店舗運営など、経営の多角化も推進。海外事業はFA機械の受注生産を中心に進めている

展開国・地域 2018年 タイ

所在地: 徳島県吉野川市 従業員数: 225名(内パート69名)
設立: 1960年4月 URL: <http://www.yokota-inc.com/>

事業内容 ベアリングレース自動車部品旋削加工/自動化機械、自動検査機、油圧単能機、NC旋削機的设计製造販売/リユースストアの運営(FC加盟)/ショッピングセンターの運営/新築、リフォームなど住宅関連事業



1 タイ現地法人:YOKOTA CORPORATION (THAILAND)CO.,LTD.の社員たち

2 現地法人の社屋

3 立ち上げ時の研修の様子

4 現地で製造しているサーボ単能機(高能率旋盤—各種部品加工、ベアリング旋削加工)



最初に決めた事業目的からブレないことが大事

4年半ほど前に中長期経営計画(YCビジョン)を策定した時から海外展開は模索していました。お客様の現地調達化の進展や人口減少に伴う労働力不足という大きな課題があり、東南アジア進出を狙っていましたが、具体的な国や対象事業の検討はこれからでした。地元のジェット口徳島に相談したところ「新輸出大国コンソーシアム」を紹介されました。2016年9月の採択後はまずSWOT分析を通じて候補事業を比較検討し、それに合わせて進出国を整理しました。例えば「ベアリングの旋削加工」と「機械の設計製造」では進出先も考慮すべき課題も異なるため、間違えると取り返しがつきません。その後はタイに絞って事業目的やロードマップを決めました。そこからブレずにPDCAを回し続けたことが今の成果につながっています。専門家の現地人脈や知識の活用はもちろん、ジェット口・バンコク事務所にあるビジネスサポートセンターも足掛かりに、スピード感を持って現地調査を実施しました。2年足らずで法人設立から工場稼働まで到達できたのは、ジェット口の支援メニューを総合的に利用できたことが大きいと思います。

商談ではローカルの雰囲気をつかむことも忘れずに

タイ投資委員会(BOI)のビジネスマッチングも活用しました。彼らは面談を多数セットしてくれましたが、印象としては玉石混合でした。限られた期間内に場数をこなすことでタイの企業の雰囲気をつかむ良い訓練になったものの、自社にとって商談一つ一つの意義を明確にし、タイ側に物事をお願いする際は具体的に伝えることが重要だとあらためて認識しました。ローカル企業の雰囲気をつかむという意味では数を重ねることが大切です。試験生産は結果的に現地の日系に依頼しましたが、ものづくりにおいては安全管理対策など、妥協してはいけない課題がありますので、一緒に課題解決できる企業に出会えるまで続けることが重要です。ちなみに大阪のBOIは領事も兼ねており、ビザの手続きなどは安心していましたが、思いのほか追加提出書類が発生してしまい、急いで徳島に戻って対応したこともあります。日本にいながらタイの行政手続きの感覚を知る良い機会になりましたね。

「ひとつづくり」の第一歩はプロをお願いした方が良い

タイには熱意のある若い人材が多いものの、日系の大手製造業等の競合も多いため、中堅・中小企業には優秀な人材の確保は難しいと考えがちです。弊社は9名のタイ人を雇用していますが、みんな定着しています。タイの若者は学ぶ意欲が旺盛なので我々も期待に応えなければいけません。工場内だけでなく、一緒に展示会に行って知識を深めてもらい、徳島に呼んで研修も受けてもらいます。また、時には息抜きにみんなで鍋パーティーをするなど、働く環境に対する工夫を絶やさないようにしています。専門家には、人材紹介会社との折衝、面接マニュアル、人材育成プラン作成など、多岐にわたる支援をしてもらいました。とりわけ、タイ人社員の教育については、日本人社員との仕事の進め方の講義を提案してもらい、細かく指導を受けました。現在は中途採用者を中心に業務を回していますが、今後は専門家の方法論も参考にしつつ、新卒採用・育成も検討していきます。



「にんげんいきいき」の
経営理念を大切に
タイでFA機を生産しています

専務取締役
(兼)YOKOTA CORPORATION
(THAILAND)CO.,LTD.社長
横田 勝己 氏

ジェット口徳島からの
ポイント



ヨコタコーポレーションの成功のポイントは、本プロジェクトにおいてもPDCAサイクルを回すことを徹底したことだと思います。当初はさまざまな可能性やリスクが考えられたのですが、専門家との面談を通じて課題が整理されていきました。同社も言ったことをきっちり守り、やり抜く会社であったので、2年という短期間で現地生産まで達成することができました。また同社は本当に人材を大事にする会社で、現地においても従業員とともに会社を成長させようとするさまざまな取り組みが行われており、その姿勢がタイ人スタッフの心をガッチリとつかんでいるように思います。